NIE実践報告

1．タイトル：☆「生きる力」を育むNIE活動~「生徒が輝く保健委員会活動」

2．学校名

福井県学校法人嶺南学園敦賀気比高等学校

3．実践者名（代表者名）

坂本　理香

4．学年

第1・2・3学年（全学年）

5．教科・領域名および受講児童・生徒数

生徒保健委員会　52人

6．単元（本時の学習課題）名

新聞記事で得た情報・学びを発信しよう

7．目標(狙い)

自分達の得た情報と学びを全校生徒、教員、保護者に発信し、情報を共有し、学びを深めることを目指す。

8．評価の視点

テーマに沿った記事から内容を読み解き、感想、意見を持ち、さらに発信することができたか

9．年間指導計画における本単元の位置づけと時数
（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

特別活動の中の生徒会活動として実施。また、学校保健計画における生徒保健委員会活動として年間を通して実施。昼食後休憩時間、放課後、夏期休業期間などを活動時間にあてる。

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

（学習展開）　①新聞社のNIEコーディネーターによる「新聞切り抜き作品作り講習会」を前期、後期各1回実施。前期は学園祭での展示、後期は三者懇談時に玄関近くに展示コーナーを設け、掲示することを目標、目的に掲げる。②第二目標として新聞社主催の作品コンクールへの応募をめざす。③製作班の編成。昼休み、放課後、夏期休業期間の活動となるため、生徒の活動可能時間等を十分考慮して編成する。④班ごとに取り上げるテーマ、を選定する。記事は保健室に常設してある切り抜き記事と近日の新聞から自分達でみつけた記事をあわせて使用する。⑤タイトル、小見出しを考え、記事をレイアウトして台紙（模造紙）に貼る。⑥色紙、蛍光マーカー、マジックなどを用い、読者が興味を持つように、効果的に伝わるように工夫する。⑦記事に関する感想、意見、作品全体のまとめ等を書く。
（留意点）①作業時間の確保：生徒個々の活動可能時間の調整を行い、短時間でも少しずつ作業ができるようにする。②興味、関心の持続：作業に行き詰まった時は一緒に記事を探したり、話題提供したりしながら、最後まで継続できるよう促す。③感想、意見が出にくい時はこちらから発問し、生徒の気づきを喚起する援助を行う。

11．児童・生徒の反応、感想・意見

新聞がとても身近なものとなり、家庭でも気に入った記事があると切り抜いて保存しておく習慣がついた…という生徒が何人かいる。目的を持って新聞を読むことが有意義であり、テーマを追いながら記事を探していく過程で「新聞ってなかなかおもしろい」と気づいた生徒が多いようである。

12．成果と課題

今回は保健委員同士、あるいは保健委員、教師間でかなり深く互いの考えを話し合うことができた。これが昨年度との比較で、評価できる点である。事件の記事を読み、人としてしてはいけないことを確認しあい、ケータイ、いじめといった自分たちが主役の話題、テロや戦争などの世界情勢、身近な食の問題、環境問題など実に多様な情報を彼らなりに受け止め、自身の中で理解し、意見をもち、他者に伝えることができるというレベルに到達できた感がある。NIEを通して培った生徒たちとの学びは教科書や押しつけの教育、指導では得られないまさに「生きる力」を育む活動であったと感じている。